がんばろう！東北

平成２６年６月２０日
国土交通省　東北地方整備局
北上川下流河川事務所

記者発表資料

重要文化財「石井閘門」補修が「全建賞」を受賞

北上川下流河川事務所が実施した**重要文化財「石井閘門」の補修**が、(一社)全日本建設技術協会の平成25年度**「全建賞」を受賞**しました。
当事務所は、**昨年（※）に引き続き、２年連続での受賞**となります。

重要文化財「石井閘門」については、東日本大震災での被災後、有識者による委員会を設立して、補修のための本格的な調査を開始し、委員会で協議した「震災前の姿に戻す」という補修方針のもとで昨年１０月に工事着手、今年３月に補修を完了しております。その補修過程において、**有識者委員会の議論を踏まえて取り組んだことが評価**されました。

今後は、**地域住民を対象とする見学会の開催を予定**しています。詳細は、別途お知らせします。

【平成25年度　受賞事業名】　○重要文化財　石井閘門　補修

（※）平成24年度　受賞事業名
○東日本大震災の復旧事業の内、内陸部の復旧
○北上川等堤防復旧技術検討会の取り組み

【評　価】
東日本大震災により被災した石井閘門の補修にあたり、重要文化財であることから健全度評価や使用材料等について有識者の委員会の議論を踏まえて取り組まれていることが評価されました。

◇全建賞とは・・・。
本賞は、一般社団法人全日本建設技術協会が設置し、「建設技術の活用」や「公共事業の進め方やストックの運用の工夫等」により、特出した成果が得られた事業や施策に贈られるもので、昭和28年に創設された伝統ある賞です。平成25年度は全国で297事業の応募があり、60事業（東北10事業）が受賞しました。なお、本賞は、東京学芸大学名誉教授　小澤紀美子氏を委員長とする同賞審査委員会で審査されています。

発表記者会：石巻記者クラブ、古川記者クラブ

問い合わせ先
◆国土交通省　東北地方整備局　北上川下流河川事務所
【住所】石巻市蛇田字新下沼８０　【TEL】0225−95−0194（代表）
（事務所ＨＰ）http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/
副所長（技術）　佐藤（さとう）　正明（まさあき）（内線２０５）
管理課長　大平（おおだいら）　知秀（ともひで）（内線３３１）

参 考

～ 重要文化財『石井閘門』補修 ～

石井閘門は、明治13年（1880年）に、明治政府が東北地方の開発の拠点として建設を進めた野蒜（のびる）築港事業の代表的遺構。竣工から130年余りを経て現在も供用されている国内最古の閘門。近代閘門の規範を示すものとして土木技術史上高く評価され、平成14年5月23日に、国の重要文化財に指定。しかし、施設の老朽化及び東北地方太平洋沖地震とその津波によって、施設の変形・損傷を受け、その補修方法や今後の維持管理のあり方等について、専門家に検討して頂くため平成24年8月8日に委員会設立（委員長：木村勉）、平成26年3月に散会。

補修工事は平成25年10月から開始し、平成26年3月に完成。

◆重要文化財「石井閘門」保全対策検討委員会メンバー

・阿部貴弘（日本大学理工学部まちづくり工学科准教授）
・風間　聡　（東北大学大学院工学研究科教授）
・木村　勉★（長岡造形大学建築・環境デザイン学科教授）
・後藤光亀　（東北大学大学院工学研究科准教授）
・知野泰明　（日本大学工学部土木工学科准教授）
・永井康雄　（山形大学地域教育文化学部教授）
・長谷川直司（（独）建築研究所建築生産研究G長）
・邊見清二　（石巻千石船の会会長）
・河井　正　（東北大学大学院工学研究科准教授）

【委員会実施状況】

◇第１回委員会（H24.8.8）
　・現地検討会（H24.12.16）
　・閘室部背面地盤の掘削調査（H25.2.4～7）
◇第２回委員会（H25.3.17）
◇第３回委員会（H25.6.26）
◇第４回委員会（H25.9.25）※補修方針の決定
　・現地検討会（H25.12.6～19）
◇第５回委員会（H26.3.12）　※「委員会」散会

◆補修状況

笠石設置状況（H26.3撮影）

煉瓦補修状況（H26.2撮影）

補修終了（平成26年４月撮影）